

事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	保育士就職支援事業			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
所管課	こども未来局指導監査課	根拠法令	なし		待機児童解消にかかる保育施設等の整備に伴い、保育士の人材確保が必要となり、平成25年度より本市にて保育士・保育所支援センターを設置した。
開始年度	平成25年度	行政計画	第5次福岡市子ども総合計画		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 保育施設等への求職者、潜在保育士、指定保育士養成施設等の学生	実施内容(手段)	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ①保育士・保育所支援センター(指導監査課内) 内容: 指導監査課内に設置した保育士・保育所支援センターにおいて、就職あっせん及び求職・求人双方の相談等(平日9:00~17:30)を実施 ②支援センター臨時開設(出張相談会 ハローワーク福岡中央等) (年5回) ③保育士就職支援研修会(年4回) 内容: 潜在保育士や学生への保育情報の提供、保育ミニ講座、就職相談等 ④指定保育士養成施設等訪問 内容: 指定保育士法制施設を訪問し、学生への就職支援や就職担当者等への聞き取り調査及び情報交換を実施 ⑤就業継続支援研修会 内容: 私立保育園長及び公私立新規採用保育士へ職場のメンタルヘルスや期待される保育園職員像について研修を実施	成果(終期・継続検討)	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 現在、保育士確保が難しい状況が続いており、また、保育士が充足している保育施設等も定年退職や中途退職により保育士を採用する必要が生じるため、今後も保育人材の安定的確保のために事業を継続する必要がある。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 保育士・保育所支援センターにおける就職相談やあっせん、潜在保育士等を対象とした就職支援研修会の開催、指定保育士養成施設等学生への就職支援などにより、保育士の専門性向上と質の高い保育人材の安定的確保を目的とする。				

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	①就職あっせん及び求職・求人双方の相談 ②支援センター臨時開設 ③福岡市の保育情報、保育ミニ講座、就職相談 ④学生への就職支援や就職担当者等への聞き取り調査及び情報交換 ⑤就業継続支援研修会及びその周知	・求職者が支援センターに就職相談をする。 ・求職者が研修会や学生支援に参加する。	・希望の保育施設等に就職できる。 ・研修受講、学生支援により、就職に関しての情報を得ることができる。	保育人材の安定的な確保が出来る。	
	指標の内容	実績	目標	実績	目標
活動の指標	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度
支援センター利用者数(出張相談会含む)	目標	1,000	1,000	1,000	R 年度
	実績	1,105	848	1,000	最終年度の設定なし
	達成率	110.5%	84.8%		最終年度の設定なし
保育士就職支援研修会参加者数	目標	50	50	60	R 年度
	実績	21	41		最終年度の設定なし
	達成率	42.0%	82.0%		最終年度の設定なし

事業区分		重点
基本計画		
施策コード	主 再	1-7-1 -
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている	
施策	子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会づくり	
事業群	安心して生み育てられる環境づくり	
行政運営プラン		
取組方針	なし	
推進項目		

事業費(千円)			
令和3年度決算額(見込額)			
	歳出合計		4,353
歳入	特定財源		4,128
	一般財源		225
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R2	R4
	歳出合計	4,254	5,137
歳入	特定財源	4,466	4,653
	一般財源	△212	484

事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	保育士就労継続支援事業			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か	
所管課	こども未来局指導監査課	根拠法令	なし		平成24年11月「福岡市保育所運営補助のあり方検討委員会報告書」において、「就労継続を促すためには、(中略)心の悩みや勤務条件などを相談できる機関を設置するなど、給与以外の部分での働き方を支援するような仕組みの方がより効果的である」等の意見が出された。	
開始年度	平成28年度	行政計画	第5次福岡市子ども総合計画		以上を踏まえ、平成28年度より現役保育士の就労関係等悩みに対応できるよう弁護士及び社会保険労務士を設置。	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 福岡市内の保育所(園)等で働く職員	実施内容(手段)	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか <労務相談>福岡県社会保険労務士会による電話相談・面談 ・場所 福岡県社会保険労務士会事務所 ・日時 毎週火・木 12:00～18:00 第1土・第3日 10:00～16:00 <メンタルヘルス相談>(一社)安全衛生人材開発協会による電話またはWeb等での相談・面談(R1年度～) ・場所 (一社)安全衛生人材開発協会 ・日時 毎日9:00～19:00(時間外対応も可)	成果(終期・継続検討)	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 労務相談・メンタルヘルス相談共に、保育士の就労支援・離職防止が今後重要であるため継続。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 就労継続を支援するため、産業カウンセラー及び社会保険労務士による相談窓口を設置し、現役保育士の就労関係等の悩みに対応することで就労支援を図る。				

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)
	就労継続を支援するため、産業カウンセラー及び社会保険労務士による相談窓口を設置する。また、相談窓口の周知を図る。	就労関係等の悩みがある場合、相談窓口を利用する。相談窓口があることを知る。	相談窓口を利用することで、就労関係の悩みを相談でき、就労継続につながる。いつでも相談ができる場所があることで、安心して働けるようになる。	保育の質や保育士数が確保され、安定した保育の提供が出来る。
	活動の指標	成果の指標(KPI)	活動の指標	成果の指標(KPI)

指標の内容	年度	実績		目標		成果の指標(KPI)
		R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	
労務相談件数	目標	-	-	R4年度	R年度	労務相談件数
	実績	9	9	実績数把握	実績数把握	
	達成率	-	-			
メンタルヘルス相談件数	目標	-	-	R4年度	R年度	メンタルヘルス相談件数
	実績	29	21	実績数把握	実績数把握	
	達成率	-	-			

		事業区分	一般
基本計画			
施策コード	主	1-7-1	
	再	-	
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会づくり		
事業群	安心して生み育てられる環境づくり		
行政運営プラン			
取組方針	なし		
推進項目			

事業費(千円)		
令和3年度決算額(見込額)		
歳出合計	1,046	
歳入	特定財源	0
	一般財源	1,046
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	R2	R4
歳出合計	1,045	1,111
歳入	特定財源	0
	一般財源	555

事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	市立障がい児通園施設（心身障がい福祉センター、あゆみ学園、めばえ学園、西部療育センター、東部療育センター）		背景	事業を始めた理由（きっかけ）は何か
所管課	こども未来局こども発達支援課	根拠法令		児童福祉法
開始年度	昭和48年	行政計画		第5次福岡市子ども総合計画

【事業概要】

対象	誰（何）を対象として行うのか	実施内容（手段）	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	成果（終期・継続検討）
	障がいのある子どもとその家族			
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか			
	障がいのある子どもとその家族に、身近な地域での相談対応や適切な療育支援に繋げる。			

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー（ロジックモデル）	①活動アウトプット （どんな活動を行うのか）	②結果アウトプット （活動の結果、どうなるのか）	③中間アウトカム （その結果、対象はどうなるのか）	④最終アウトカム （その結果、市としてどうなるのか）							
	区役所（保健福祉センター）や療育センター等、こども総合相談支援センターが連携しながら、“発達が気になった”段階から、家族も含めた支援を行う。	医療機関や乳幼児健康診査などの受診時に、「障がいの疑いがある」とされた場合に、専門機関である療育センター等において医学的診断を行い、障がいの早期発見を行う。	障がいのある子どもとその家族に、身近な地域での相談対応や適切な療育支援に繋げることができる。	障がいの早期発見と早期支援、ノーマライゼーションの理念のもとに、一人ひとりの自立を目指した支援・療育体制の充実につながる。							
活動の指標	指標の内容	実績		目標		成果の指標（KPI）	指標の内容	実績		目標	
		年度	R2年度	R3年度	R4年度		最終年度	年度	R2年度	R3年度	R4年度
	療育センター等における新規受診児数	目標	-	-	-	R6年度	子育て環境満足度	目標	-	-	R6年度
		実績	1,708	1,931	-	-		実績	71.6	67.0	75.0
		達成率	-	-	-	-		達成率	-	-	75.0
		目標				R 年度	療育センター等における支援延件数	目標	90,000	92,000	R6年度
		実績						実績	80,533	82,176	
		達成率						達成率	89.5%	89.3%	98,000

事業区分		重点
基本計画		
施策コード	主 1-7-1 再 -	施策成果指標 子育て環境満足度（R6 75.0%）
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている	
施策	子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会づくり	
事業群	安心して生み育てられる環境づくり	
行政運営プラン		
取組方針	なし	
推進項目		

事業費（千円）		
令和3年度決算額（見込額）		
歳出合計	1,657,824	
歳入	特定財源	709,065
	一般財源	948,759
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	R2	R4
歳出合計	1,684,001	1,645,831
歳入	特定財源	627,342
	一般財源	1,056,659

事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	子ども家庭支援センター			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
所管課	こども未来局こども家庭課	根拠法令	児童福祉法		児童相談所と区役所閉庁時の相談体制が十分でなかったことや、育児に不安を抱える家庭への支援などが課題であったことから、よりきめ細かく専門的支援を行えるよう体制を充実させ、虐待事件の未然防止、再発防止を図るために設置した。
開始年度	平成25年度	行政計画	第5次福岡市子ども総合計画		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 子育てに不安を感じている家庭や里親	実施内容(手段)	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・業務委託により、以下の相談業務等を実施 休日・夜間の相談対応、区からの依頼による相談等、・児童相談所からの依頼又は指導委託による相談等、里親やファミリーホームへの相談対応、関係機関等との連絡調整、その他子ども家庭福祉の向上を目的とする業務 ・子ども家庭支援センターを東区に1か所増設	成果(終期・継続検討)	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 児童相談所、各区役所等の機能が充実することで、虐待防止の効果がみられるなど、子ども家庭支援センターの必要性が薄れた場合は終了を検討する。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 児童に関する相談のうち、専門的な知識及び技術を必要とするものに応じ、必要な助言を行うとともに、市の求めに応じ、必要な援助・指導等を行い、児童、家庭の福祉の向上を図る。				

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																								
	・子育てに関する相談対応等。	・子育てに不安を感じている家庭や里親が相談する。	・相談により問題解消、または適切な機関での支援に繋がる。 ・里親やファミリーホームの養育スキルの向上。	・虐待通告件数が減少する。																																								
	指標の内容	実績	目標	実績	目標																																							
活動の指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>R6年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>-</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	目標	-	-	-	R6年度	実績	2	3	-	4	達成率	-	-	-	-			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>R6年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>71.6</td> <td>67.0</td> <td>75.0</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	目標	-	-	-	R6年度	実績	71.6	67.0	75.0	75%	達成率	-	-	-	-
年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度																																								
目標	-	-	-	R6年度																																								
実績	2	3	-	4																																								
達成率	-	-	-	-																																								
年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度																																								
目標	-	-	-	R6年度																																								
実績	71.6	67.0	75.0	75%																																								
達成率	-	-	-	-																																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>R年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>5,905</td> <td>6,492</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	目標	-	-	-	R年度	実績	5,905	6,492	-	-	達成率	-	-	-	-																							
年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度																																								
目標	-	-	-	R年度																																								
実績	5,905	6,492	-	-																																								
達成率	-	-	-	-																																								

		事業区分	重点
基本計画			
施策コード	主	1-7-1	施策成果指標 子ども家庭支援センター設置数 R3n(現状): 2か所 ⇒R6n: 4か所
	再	-	
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会づくり		
事業群	安心して生み育てられる環境づくり		
行政運営プラン			
取組方針	なし		
推進項目			

事業費(千円)			
令和3年度決算額(見込額)			
	歳出合計		40,160
歳入	特定財源		20,079
	一般財源		20,081
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R2	R4
	歳出合計	32,300	48,968
歳入	特定財源	14,212	24,484
	一般財源	18,088	24,484

事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	虐待防止等強化事業（投資）			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
所管課	こども未来局こども家庭課	根拠法令	児童福祉法		H28年の児童福祉法改正により家庭養育優先原則をもとに社会的擁護にいた児童を家庭復帰させる等の実践も取り組まれていた。こども総合相談センターにおける児童虐待相談対応件数はH30年にH25年の4倍を超えた。個々の相談内容は複雑化・深刻化していた。令和元年6月の「児童虐待による死亡事例等検証」において、虐待防止及び家庭養育の推進のため、養育力が不十分な保護者に対し、頻回な訪問型の在宅支援サービスを実施する必要性があると提言されたため。
開始年度	令和2年度	行政計画	第5次子ども総合計画		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 児童相談所及び区(要支協)の管理ケースのうち、育児・家事援助なしでは施設入所等が検討される家庭。	実施内容(手段)	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか (育児・家事援助) 例) 早朝の送り出しまでの支援(朝食準備、声かけ等)、朝夕の保育所等送迎(ヘルパー単独での送迎)、夕方～夕食までの支援(帰宅後の出迎え、宿題、夕食準備等)、住環境整備(掃除、洗濯)など (要綱改正) 支援をする中枢機関(各区子育て支援課および児童相談所)と本事業の対象家庭に効果的な支援の在り方に関する協議を行い、要綱改正を行った。具体的には支援にあたる日数の上限をなくし、短期集中型の支援を行うことで虐待リスクの軽減が出来るようにした。また中期的支援が必要な家庭のために、導入できる期間を9ヶ月から、中枢機関がその必要性を認めた場合最大で12ヶ月にまで延長する等の条件整備を行った。	成果(終期・継続検討)	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 「第5次福岡市子ども総合計画(R2～6)」期間を通して事業効果を検証し、令和6年度に時期子ども総合計画を検討する中で在宅支援サービスの在り方について整理し、事業継続の検討を行う。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 施設入所に至らないよう在宅支援策(介入的予防)を充実させることで、「家庭養育優先原則(児童福祉法3条の2)」が達成される。				

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	・不適切な養育状態にある家庭や施設等から家庭復帰をした児童がいる家庭など、虐待のおそれやそのリスクを抱える家庭に対し、その養育が適切に行われるよう、頻回な訪問型の在宅支援サービスを実施する。	・不適切な養育状態にある家庭の養育環境が整い、子どもの健やかな成長につながる。施設等への入所児童が減少する。	・施設入所に至らないよう在宅支援策(介入的予防)を充実させることで、「家庭養育優先原則(児童福祉法3条の2)」が達成される。	・代替養育(措置)を必要とする子どもが少なくなる。	
	指標の内容	実績	目標	実績	目標
活動の指標	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度
支援家庭数	目標	50.0	55.0	60.0	R 年度
	実績	15.0	54.0	80.0	390.0
	達成率	30.0%	98.2%	93.0%	86.5%
受諾団体数	目標	5.0	5.0	6.0	R6年度
	実績	27.0	14.0	7.0	7.0
	達成率	540.0%	280.0%		

		事業区分	重点
基本計画			
施策コード	主	1-7-1	施策成果指標
	再	-	
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会づくり		
事業群	安心して生み育てられる環境づくり		
行政運営プラン			
取組方針	2ぬくもり 多様なニーズに寄り添うサービスの提供		
推進項目	④市民や企業などとの共働・連携		

事業費(千円)			
令和3年度決算額(見込額)			
	歳出合計	7,087	
歳入	特定財源	7,428	
	一般財源	▲ 341	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R2	R4
	歳出合計	1,071	27,114
歳入	特定財源	1,555	18,076
	一般財源	▲ 484	9,038

事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	不育症検査費・治療費助成事業			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
所管課	こども未来局こども健全育成課	根拠法令	なし		妊娠しても流産や死産を繰り返し、出産に至らない「不育症」について、検査や治療にかかる費用の多くが保険適用されていないことから、不育症に悩む夫婦の経済的負担軽減を図るため、令和2年10月開始。
開始年度	令和2年度	行政計画	なし		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 不育症に悩む夫婦	実施内容(手段)	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 対象者からの申請に基づき、保険診療の対象とならない不育症の検査費・治療費について、自己負担の2分の1(上限5万円)として助成金の支給を行った。※助成金の支給要件あり	成果(終期・継続検討)	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 不育症にかかる検査費・治療費の多くが保険適用とならない間は、事業を継続する。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 保険診療の対象とならない不育症の検査費・治療費にかかる経済的負担が軽減された状態				

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)			
	保険診療の対象とならない不育症の検査費・治療費について、助成金の支給を行う。	対象者の経済的負担が軽減される。	不育症に悩む夫婦が、検査・治療を受けやすくなる。また、流産等の原因を把握することで、妊娠・出産に対する不安が軽減される。	子どもを望む方々への支援により、安心して生み育てられる環境が作られる。			
	指標の内容	実績	目標	実績			
	活動の指標	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	R6年度
	助成件数	-	-	-	-	-	-
	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	14.0	61.0	増加	-	-	-
	達成率	-	-	-	-	-	-
	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	達成率	-	-	-	-	-	-

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主 再	1-7-1 -	施策成果指標	子育て環境満足度(R6 75.0%)
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
施策	子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会づくり			
事業群	安心して生み育てられる環境づくり			
行政運営プラン				
取組方針	なし			
推進項目				

事業費(千円)			
令和3年度決算額(見込額)			
	歳出合計	1,556	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	1,556	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R2	R4
	歳出合計	384	2,772
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	384	2,772

事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	特別支援保育事業			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か			
所管課	こども未来局運営支援課	根拠法令	なし		子どもを取り巻く社会環境の変化に伴う保育ニーズの多様化や増大に伴い、より社会福祉的な観点から、平成14年度より全園での障がい児の受け入れを開始。			
開始年度	平成14年	行政計画	なし					

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 公立保育所・私立保育園・私立認定こども園・地域型事業所	実施内容(手段)	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ①特別な支援が必要な児童を入所させている私立幼稚園、認定こども園に対して、加配保育士の雇用費の助成、および、要医療的ケア児を入所させている保育施設には、看護師雇用費の助成を行った。 (令和3年度実績)計264施設で受け入れ(公立7か所、私立保育園225か所、認定こども園6か所、地域型保育事業所26箇所) ②特別支援保育に対する理解や認識の向上を図るため、全保育施設を対象に研修を実施。 (令和3年度実績)全体研修2回315人・区別研修4回279人・体験研修47人 ③支援が必要な児童が入所する保育施設に対する巡回訪問 (令和3年度実績)192回 ④社会福祉事業団による訪問支援の実施 (令和3年度実績)訪問回数332回・支援人数736人・研修支援回52回	成果(終期・継続検討)	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 特別な支援を必要とする児童数が増加している。特別な支援が必要な児童、受け入れる施設に対して、援助や助成を継続する。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 特別な支援を必要とする児童を受け入れる保育施設の環境を整え、対象児童と健常児が日常的に交流する中で、両者の成長発達および豊かな人間性の育成を促進する。				

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)
	特別な支援を必要とする児童を受け入れている保育施設に対し、加配保育士の雇用費や看護師雇用費の助成、研修、巡回訪問、福岡市社会福祉事業団による訪問支援を実施。	保育施設を利用する支援を必要とする児童への個別の支援が増え、特別支援保育に対する理解が深まる。	特別な支援を必要とする児童を受け入れる環境整備が進む。	子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会となる。
	活動の指標	成果の指標(KPI)		

指標の内容	年度	実績		目標		成果の指標(KPI)
		R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	
支援が必要な児童を受け入れた施設数	目標	-	-	-	R 年度	子育て環境満足度
	実績	242.0	264.0	264.0	-	
	達成率	-	-	-	-	
	目標				R 年度	
	実績					
	達成率					

		事業区分	重点
基本計画			
施策コード	主 再	1-7-1 -	施策成果指標 子育て環境満足度(R6 75.0%)
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会づくり		
事業群	安心して生み育てられる環境づくり		
行政運営プラン			
取組方針	2ぬくもり 多様なニーズに寄り添うサービスの提供		
推進項目	なし		

事業費(千円)		
令和3年度決算額(見込額)		
	歳出合計	728,498
歳入	特定財源	26,935
	一般財源	701,563
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	R2 R4
	歳出合計	604,224 896,140
歳入	特定財源	8,273 47,107
	一般財源	595,951 849,033

事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	病児・病後児デイケア事業			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か	
所管課	こども未来局こども健全育成課	根拠法令	児童福祉法		保護者が就労している場合等において、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合がある。こうした保育需要に対応するため、病院・保育所等において病気の児童を一時的に保育することで、安心して子育てができる環境を整備することを目的に事業を開始。	
開始年度	平成4年度	行政計画	第5次福岡市子ども総合計画			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 0歳～小学校6年生までの乳幼児・児童とその保護者	実施内容(手段)	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 保育所等に通っている児童が病気やその回復期にあって、保護者が勤務の都合等により家庭での看護が困難な場合に、病児デイケアルームにおいて一時保育を実施。 ・市政だよりやチラシの配布(保育園・幼稚園等)による市民への広報	成果(終期・継続検討)	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 安心して子育てができる環境を整備するため、法改正等により制度が廃止されない限りは継続する。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 保護者の子育てと仕事の両立が図られるとともに、乳幼児・児童が病気やその回復期に適切な看護を受けることができる。				

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・保護者が勤務の都合等により家庭での看護が困難な場合に安全かつ安心できる環境のもと病気やその回復期にある乳幼児・児童の預かりを行う。 ・利用者数の増加に対し、施設整備を行う。	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・保育所等で預かることができない病気やその回復期にある乳幼児・児童を預かることができる。 ・利用者数の増加に対応	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・保護者等は病児保育施設に児童を預けることで、安心して就労等に専念できる。 ・児童は、病気や回復期に適切な看護を受けることができる。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・安心して子育てができる環境がつけられる。	
	指標の内容	実績	目標	実績	
	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度
	目標	R6年度			
活動の指標	病児保育実施施設数	22.0	23.0	24.0	24.0
	実績	20.0	21.0		
	達成率	90.9%	91.3%		
	目標			R 年度	
	実績				
	達成率				

		事業区分	重点
基本計画			
施策コード	主 再	1-7-1 -	施策成果指標 子育て環境満足度(R6 75.0%)
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会づくり		
事業群	安心して生み育てられる環境づくり		
行政運営プラン			
取組方針	なし		
推進項目			

事業費(千円)		
令和3年度決算額(見込額)		
	歳出合計	363,850
歳入	特定財源	259,925
	一般財源	103,925
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	R2
	歳出合計	441,896
歳入	特定財源	293,373
	一般財源	148,523
		R4
	歳出合計	426,570

事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	産後サポート事業			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か	
所管課	子ども未来局子ども健全育成課	根拠法令	なし		国の少子化対策として、切れ目ない妊娠・出産支援の強化を図ることとされ、特に産前や産院を退院した直後の支援を充実するため、平成26年度に産後ケア事業等がモデル事業として創設。福岡市においても地域レベルで妊娠から子育て期に至るまでの切れ目ない支援を行っていくことが重要であるため平成28年度に事業開始。	
開始年度	平成28年度	行政計画	なし			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 市民(家族等から支援を十分に得られない産後早期の母や家庭)	実施内容(手段)	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 【産後ケア事業】 ・実施事業者の公募を行い、3か所増となった。 ・区や産科医療機関より市民へチラシを配布し、周知を行った。 【産後ヘルパー派遣事業】 ・区でチラシを配布し、市民への周知を行った。	成果(終期・継続検討)	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 産後も安心して子育てができる支援体制が確保されている状態。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 産後も安心して子育てができる支援体制が確保されている状態。				

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																						
	・産後支援を必要とする市民に向けた広報、周知を行う	・産後支援を必要とする市民がケアを受けられることができる	・母親やその家族が安心して育児に取り組むことができる。 ・子どもが健全に成長することができる。	・安心して、出産・育児に取り組める環境がえられる。																																																						
	指標の内容	実績	目標	実績	目標																																																					
活動の指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>750</td> <td>750.0</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">900</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>679</td> <td>872</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>90.5%</td> <td>116.3%</td> <td></td> </tr> </table>	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	目標	750	750.0	900	R 年度	実績	679	872	-	達成率	90.5%	116.3%		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>300</td> <td>300.0</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">300.0</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>271</td> <td>295</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>90.3%</td> <td>98.3%</td> <td></td> </tr> </table>	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	目標	300	300.0	300.0	R 年度	実績	271	295	-	達成率	90.3%	98.3%		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>減少</td> <td>減少</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">減少</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>14.2%</td> <td>13.7%</td> <td style="text-align: center;">減少</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </table>	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	目標	減少	減少	減少	R 年度	実績	14.2%	13.7%	減少	達成率	-	-		成果の指標(KPI)
年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度																																																						
目標	750	750.0	900	R 年度																																																						
実績	679	872		-																																																						
達成率	90.5%	116.3%																																																								
年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度																																																						
目標	300	300.0	300.0	R 年度																																																						
実績	271	295		-																																																						
達成率	90.3%	98.3%																																																								
年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度																																																						
目標	減少	減少	減少	R 年度																																																						
実績	14.2%	13.7%		減少																																																						
達成率	-	-																																																								

基本計画		事業区分	重点
施策コード	主 1-7-1 再 -	施策成果指標	4か月児健診においてアンケートに「育児に心配がある」と答えた母親の割合 R1n(現状): 14.2% ⇒ R6n: 減少
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会づくり		
事業群	安心して生み育てられる環境づくり		
行政運営プラン			
取組方針	なし		
推進項目			

事業費(千円)			
令和3年度決算額(見込額)			
	歳出合計		40,383
歳入	特定財源		11,345
	一般財源		29,038
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R2	R4
	歳出合計	31,806	38,533
歳入	特定財源	14,183	16,105
	一般財源	17,623	22,428

事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	子どもショートステイ(投資)			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か			
所管課	こども未来局こども家庭課	根拠法令	子ども・子育て支援法		児童福祉法に基づき開始。現在は児童福祉法、子ども・子育て支援法に基づき市町村が実施することとされる法定事業。保護者の疾病等により、児童の養育が一時的に困難な場合の子育て支援サービスとして、また保護者の育児疲れ等、身体的・精神的負担の軽減のための一時保護として実施			
開始年度	平成5年度	行政計画	第5次福岡市子ども総合計画					

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 保護者の育児疲れや疾病などのため、家庭での子どもの養育が一時的に困難な子育て家庭	実施内容(手段)	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・市内の乳児院、児童養護施設等の計6施設へ業務委託し実施。 ・令和3年度は、NPO法人SOS子どもの村によるショートステイ専用棟を1棟→2棟に増設し受入定員を拡大。 ・令和3年度より、非課税世帯の利用料を無料としたほか、その他世帯で、保護者の障がいや虐待防止の観点から福祉事務所が認めた場合は利用料の減免を可とした。	成果(終期・継続検討)	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか ショートステイ事業は国の事業であるが、制度改善が随時行われていることから、国の動向を踏まえた検討が必要となる。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 虐待の未然防止、一時保護や施設入所などの親子分離を防止するとともに、児童の健やかな成長の支援及び保護者が安心して育児に取り組む環境をつくる。				

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)
	保護者が病気などで家庭での養育が一時的に困難な子どもについて、児童養護施設などで短期間の預かりを実施	・実施施設等は子どもを預かる ・子どもに食事の提供、身の周りの世話などの生活支援や生活指導が行われる	・保護者の強い育児疲れ、子育て不安などの虐待リスクが軽減される ・子どもの生活環境が安定する ・行政が世帯と継続的につながり、子どもの状況の把握や見守りができる ・一時保護、施設入所児童数が減少する	・虐待発生の予防ができる ・子どもの生命、成長発達を保障することができる
	指標の内容	実績	目標	実績
	年度	R2年度	R3年度	R4年度
活動の指標	目標	2,700	3,100	R6年度
ショートステイ利用人数	実績	3,881	5,550	4,500
	達成率	143.7%	179.0%	75%
	目標			R 年度
	実績			
	達成率			

		事業区分	重点
基 本 計 画			
施策コード	主 再	1-7-3 -	施策成果指標 支援人数 R1n: 2,719人 ⇒ R6n: 4,500人
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会づくり		
事業群	さまざまな環境で育つ子どもの健やかな成長		
行政運営プラン			
取組方針	なし		
推進項目			

事業費(千円)			
令和3年度決算額(見込額)			
歳出	合計	8,730	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	8,730	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R2	R4
	歳出合計	5,532	49,182
歳入	特定財源	0	25,763
	一般財源	5,532	23,419

事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	虐待防止等強化事業（養育支援訪問）			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
所管課	こども未来局こども家庭課	根拠法令	児童福祉法		2000年(平成12年)に児童虐待防止法が制定され、児童虐待防止のため、市町村による在宅支援の強化が求められることとなり、平成21年より事業を開始した。その後、平成28年6月には児童福祉法および児童虐待防止法が改正され、家庭養育優先原則が明記されたことにより、子ども家庭総合支援拠点の設置等、在宅支援の一層の強化を求められることとなり、より一層、支援メニューの充実を求められることとなった。
開始年度	平成21年	行政計画	第5次子ども総合計画		

事業概要

対象	誰(何)を対象として行うのか 要支援児童および家庭(乳児家庭全戸訪問事業や母子保健事業、各区子育て支援課および児童相談所が虐待通告等をもとに、要支援児童と認めたもの)	実施内容(手段)	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 子ども家庭支援員が訪問による相談・家事代行等行いながら要支援家庭の支援にあたる。支援をする中枢機関(各区子育て支援課および児童相談所)と本事業の対象家庭に効果的な支援の在り方に関する協議を行い、要綱改正を行った。具体的には支援にあたる日数の上限をなくし、短期集中型の支援を行うことで虐待リスクの軽減が出来るようにした。また中期的支援が必要な家庭のために、導入できる期間を9ヶ月から、中枢機関がその必要性を認めた場合最大で12ヶ月にまで延長する等の条件整備を行った。	成果(終期・継続検討)	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 「第5次福岡市子ども総合計画(R2～6)」期間を通して事業効果を検証し、令和6年度に時期子ども総合計画を検討する中で在宅支援サービスの在り方について整理し、事業継続の検討を行う。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 『養育者による虐待のリスクが低下すること』 ・養育者の相談にのり、養育者が養育に必要なスキルを身につけ、虐待等の不適切な児童へのかかわりを減らす。 ・相談支援ネットワークを構築し、虐待発生を予防する。				

ロジックモデル・指標の達成度

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・不適切な養育状態にある家庭や施設等から家庭復帰をした児童がいる家庭など、虐待のおそれやそのリスクを抱える家庭に対し、その養育が適切に行われるよう、頻回な訪問型の在宅支援サービスを実施する。	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・不適切な養育状態にある家庭の養育環境が整い、子どもの健やかな成長につながる。施設等への入所児童が減少する。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・施設入所に至らないよう在宅支援策(介入的予防)を充実させることで、「家庭養育優先原則(児童福祉法3条の2)」が達成される。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・代替養育(措置)を必要とする子どもが少なくなる。																																																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="3">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">専門的相談支援(家庭数)</td> <td>目標</td> <td>146.0</td> <td>147.0</td> <td rowspan="3">150.0</td> <td>R6年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>112.0</td> <td>134.0</td> <td>157.0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>76.7%</td> <td>91.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">専門的相談支援(支援員人数)</td> <td>目標</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> <td rowspan="3">85.0</td> <td>R6年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>88.0</td> <td>85.0</td> <td>90.0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>110.0%</td> <td>106.3%</td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	実績			目標		年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	専門的相談支援(家庭数)	目標	146.0	147.0	150.0	R6年度	実績	112.0	134.0	157.0	達成率	76.7%	91.2%		専門的相談支援(支援員人数)	目標	80.0	80.0	85.0	R6年度	実績	88.0	85.0	90.0	達成率	110.0%	106.3%		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="3">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">代替養育(措置)されている子どもの数</td> <td>目標</td> <td>398.0</td> <td>379.0</td> <td rowspan="3">391.0</td> <td>R6年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>370.0</td> <td>328.0</td> <td>390.0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>93.0%</td> <td>86.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	実績			目標		年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	代替養育(措置)されている子どもの数	目標	398.0	379.0	391.0	R6年度	実績	370.0	328.0	390.0	達成率	93.0%	86.5%			目標				R 年度		実績						達成率				
	指標の内容		実績			目標																																																																														
		年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度																																																																														
専門的相談支援(家庭数)	目標	146.0	147.0	150.0	R6年度																																																																															
	実績	112.0	134.0		157.0																																																																															
	達成率	76.7%	91.2%																																																																																	
専門的相談支援(支援員人数)	目標	80.0	80.0	85.0	R6年度																																																																															
	実績	88.0	85.0		90.0																																																																															
	達成率	110.0%	106.3%																																																																																	
指標の内容	実績			目標																																																																																
	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度																																																																															
代替養育(措置)されている子どもの数	目標	398.0	379.0	391.0	R6年度																																																																															
	実績	370.0	328.0		390.0																																																																															
	達成率	93.0%	86.5%																																																																																	
	目標				R 年度																																																																															
	実績																																																																																			
	達成率																																																																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="3">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">専門的相談支援(家庭数)</td> <td>目標</td> <td>146.0</td> <td>147.0</td> <td rowspan="3">150.0</td> <td>R6年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>112.0</td> <td>134.0</td> <td>157.0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>76.7%</td> <td>91.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">専門的相談支援(支援員人数)</td> <td>目標</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> <td rowspan="3">85.0</td> <td>R6年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>88.0</td> <td>85.0</td> <td>90.0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>110.0%</td> <td>106.3%</td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	実績			目標		年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	専門的相談支援(家庭数)	目標	146.0	147.0	150.0	R6年度	実績	112.0	134.0	157.0	達成率	76.7%	91.2%		専門的相談支援(支援員人数)	目標	80.0	80.0	85.0	R6年度	実績	88.0	85.0	90.0	達成率	110.0%	106.3%		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="3">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">代替養育(措置)されている子どもの数</td> <td>目標</td> <td>398.0</td> <td>379.0</td> <td rowspan="3">391.0</td> <td>R6年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>370.0</td> <td>328.0</td> <td>390.0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>93.0%</td> <td>86.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	実績			目標		年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	代替養育(措置)されている子どもの数	目標	398.0	379.0	391.0	R6年度	実績	370.0	328.0	390.0	達成率	93.0%	86.5%			目標				R 年度		実績						達成率					
指標の内容		実績			目標																																																																															
	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度																																																																															
専門的相談支援(家庭数)	目標	146.0	147.0	150.0	R6年度																																																																															
	実績	112.0	134.0		157.0																																																																															
	達成率	76.7%	91.2%																																																																																	
専門的相談支援(支援員人数)	目標	80.0	80.0	85.0	R6年度																																																																															
	実績	88.0	85.0		90.0																																																																															
	達成率	110.0%	106.3%																																																																																	
指標の内容	実績			目標																																																																																
	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度																																																																															
代替養育(措置)されている子どもの数	目標	398.0	379.0	391.0	R6年度																																																																															
	実績	370.0	328.0		390.0																																																																															
	達成率	93.0%	86.5%																																																																																	
	目標				R 年度																																																																															
	実績																																																																																			
	達成率																																																																																			
	事業区分	重点	事業費(千円)																																																																																	

基本計画		施策成果指標 「福岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」におけるしつけにおける体罰の容認傾向の改善。
施策コード	主 1-7-3 再 -	
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている	
施策	子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会づくり	
事業群	さまざまな環境で育つ子どもの健やかな成長	
行政運営プラン		
取組方針	2ぬくもり 多様なニーズに寄り添うサービスの提供	
推進項目	④市民や企業などとの共働・連携	

令和3年度決算額(見込額)		
歳出合計	7,036	
歳入	特定財源	9,868
	一般財源	▲ 2,832
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	R2	R4
歳出合計		
		4,741
		9,790
歳入	特定財源	8,904
	一般財源	▲ 4,163
		4,049

事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	里親養育包括支援(フォスタリング)事業 (令和2年度より乳幼児里親リクルート事業から名称変更)			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か	
所管課	こども未来局こども支援第1課	根拠法令	児童福祉法		平成28年度より「乳幼児里親リクルート事業」として、乳幼児を短期でも受託可能な養育里親の新規開拓から登録・委託後支援を行い、順調に実績を伸ばしてきた。そのノウハウを活かし、年齢や期間を問わず、里親による養育を必要とするすべての子どもを里親に委託できるよう、里親のリクルートから委託後の支援まで包括的に 行う委託事業を拡大していく必要があるため	
開始年度	平成28年度	行政計画	第5次福岡市子ども総合計画			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 市民 (社会的養護を必要とする子どもの支援に関心のある市民)	実施内容(手段)	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか フォスタリング(里親養育包括支援)業務を専門とするNPO法人に以下の業務を委託し、実施した。 ①新規里親のリクルート活動 ポスティングによるチラシの配布、商業施設等でのイベントやガイダンスの開催など様々な広報活動により多くの市民に必要な情報発信を行った。 ②相談・面接・調査・育成 関心のある市民に里親制度の理解を深めるグループワークによる研修を実施し、里親登録への支援を行った。 ③委託後支援・委託解除後支援 こども総合相談センターとの連携により、委託(含：一時保護委託)に向けての支援、委託中の里子養育支援を行うとともに、委託解除後に養育の振り返りを行った。	成果(終期・継続検討)	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 児童福祉法の改正により、フォスタリング機関が里親支援センターとして児童福祉施設と位置づけられ、義務的経費での運用となる。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 社会的養護を必要とする子どもに関心がある、または支援をしたいという思いのある市民を、里親としての活動をしてもらえるよう、普及啓発ならびに育成をし、福岡市の養育里親を増やす。そして実家庭で生活できない子どもが必要な期間、里親家庭で安心安全に生活できるようにする。				

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	社会的養護を必要とする児童を養育できる里親の必要性等について、様々な広報媒体による啓発・情報発信を行う。	里親に関心のある市民がNPOにアクセスする。 ↓ 里親制度に関する学びを深める。 ↓ NPOの支援で、里親になるためのトレーニングを受け、必要な調査に応じる。	里親登録への手続きを進め、福岡市の登録里親になる。 ↓ 社会的養護が必要な児童が委託される。	福岡市の社会的養護を必要とする児童に、里親家庭での養育を保障することができるようになり、子どもの心身の健全な成長発達を保障することができる。		
活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)		
		年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度
	養育里親に関する市民からNPOへの問い合わせ件数	目標	200.0	200.0	200.0	R6年度
		実績	159.0	242.0	200.0	200.0
		達成率	79.5%	121.0%		
	問い合わせがあった世帯の内、ガイダンス訪問を実施する件数	目標	40.0	40.0	80.0	R6年度
		実績	46.0	86.0	80.0	80.0
		達成率	115.0%	215.0%		

事業区分		重点
基 本 計 画		
施策コード	主 再	1-7-3 - ○里親等委託率 第5次福岡市子ども総合計画： 里親等委託率：令和6年度末 乳幼児75%・学齢児以上50%
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている	
施策	子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会づくり	
事業群	さまざまな環境で育つ子どもの健やかな成長	
行政運営プラン		
取組方針	なし	
推進項目		

事業費(千円)			
令和3年度決算額(見込額)			
	歳出合計	32,591	
歳入	特定財源	23,652	
	一般財源	8,939	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R2	R4
	歳出合計	32,591	38,963
歳入	特定財源	17,774	25,975
	一般財源	14,817	12,988

事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	子どもの食と居場所づくり支援事業			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か			
所管課	こども未来局こども見守り支援課	根拠法令	子どもの貧困対策の推進に関する法律		貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境整備を促進するため、食事の提供と居場所づくりを行うNPOやボランティア団体等の事業の実施に要する経費について、平成28年度より助成開始。			
開始年度	平成28年度	行政計画	第5次福岡市子ども総合計画					

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 主に貧困を抱えた世帯やひとり親世帯などに属する子ども	実施内容(手段)	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 食事の提供と居場所づくりを行うNPOやボランティア団体等に対し、その活動経費の一部を助成した。 ○令和3年度補助交付団体: 19団体	成果(終期・継続検討)	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するため、引き続き事業を継続していく。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか NPOやボランティア団体等の活動を通して、貧困を抱えた世帯やひとり親世帯などに属する子どもに、温かい食事が提供され、学習支援や遊び体験などを行う居場所ができる。				

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	食事の提供と居場所づくりを行うNPOやボランティア団体等に対し、その活動経費の一部を助成する。	市内に子どもの食と居場所づくり活動が広がる。(いわゆる「子ども食堂」が増える)	・貧困の状況にある子どもが、大人や他の子どもと温かい食事を食べ、学習をしたり遊んだりする機会が増える。 ・より多くの子どもが地域で見守られ、支えられる。	貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境が整備される。		
活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)		
		年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度
	子どもの食と居場所づくり支援団体数(累計)	目標	増加	増加	増加	R 年度
		実績	35	42	増加	54
		達成率	-	-		増加
		目標				R 年度
		実績				増加
		達成率				増加

		事業区分	重点
基本計画			
施策コード	主 再	1-7-3 -	施策成果指標 なし
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会づくり		
事業群	さまざまな環境で育つ子どもの健やかな成長		
行政運営プラン			
取組方針	なし		
推進項目			

事業費(千円)			
令和3年度決算額(見込額)			
歳出	合計		3,014
歳入	特定財源		3,014
	一般財源		0
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R2	R4
歳出	合計	2,865	6,120
歳入	特定財源	2,865	6,120
	一般財源	0	0

事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	若者の相談支援体制の強化			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か	
所管課	こども未来局こども健全育成課	根拠法令	子ども・若者育成支援推進法		・18～39歳のうち、ひきこもりや無業の状態にある若者は、悩みや心配ごとを誰にも相談しない傾向があるため、困難を有する若者や家族を早期に把握し、適切な支援につなぐ機能が必要。 ・義務教育終了後の若者は、総合的な相談・支援の受け皿がなく、年齢により支援が途切れる等の課題があるため、若者に関する総合的な支援・連携体制の強化が必要。	
開始年度	令和3年度	行政計画	第5次福岡市子ども総合計画			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 社会生活を営む上で困難を有する市内在住の概ね15歳～39歳までの方、その家族等	実施内容(手段)	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・令和4年度に「若者支援地域協議会」を立ち上げるために、福岡市と国・県の若者を支援する関係機関等による準備会を開催。 ・若者総合相談センター設置の検討、委託先の公募実施。 ・若者支援団体とのネットワーク交流会を開催。	成果(終期・継続検討)	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 相談件数が目標値に達した時点で、相談及び支援状況について分析。広報手段について、協議会構成機関及び若者支援団体ネットワーク参加団体の追加等の必要性及び新たな相談方法の検討(アウトリーチ等)を行う。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 若者の困難を早期に解消することで、一人でも多くの若者が社会に参加し、社会的にも職業的にも自立することができる。		令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・令和4年度に「若者支援地域協議会」を立ち上げるために、福岡市と国・県の若者を支援する関係機関等による準備会を開催。 ・若者総合相談センター設置の検討、委託先の公募実施。 ・若者支援団体とのネットワーク交流会を開催。		

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)									
	社会生活を営む上で困難を有する若者や家族からの相談を受け付け、適切な機関につなぐ相談機関(若者総合相談センター)を設置。若者支援地域協議会について、実効的な連携体制や調整機能を強化。(市立中学校と連携し、センターに支援を引き継ぐ)	センターで相談を行った若者は、適切な機関で支援を受けることができる。支援が必要な生徒の情報が、市立中学校からセンターに引き継がれ、継続して支援を受けることができる。	若者の困難が解消。社会的なつながりを持つことができ、社会参加が行え、社会的にも職業的にも自立できる。	社会生活を営む上で困難を有する若者の減少。収入増加に伴う税収の増加。扶助費の減少。									
	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)									
活動の指標	センター相談件数	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	成果の指標(KPI)	社会的自立に向け支援を受けた若者のうち、支援を通して状況に改善が見られた者の割合	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度
		目標	-	-	-	R6年度		目標	-	-	-	-	R6年度
		実績	-	-	450件	900件		実績	-	-	-	40%	-
		達成率	-	-	-	-		達成率	-	-	-	-	50%
		目標	-	-	-	-		目標	-	-	-	-	R6年度
		実績	-	-	-	-		実績	-	-	-	-	-
	達成率	-	-	-	-	達成率	-	-	-	-	-		

		事業区分	重点
基本計画			
施策コード	主 再	1-8-4 -	施策成果指標 なし
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	自ら考え、学び、行動する子ども・若者の育成		
事業群	子どもの体験機会と若者の相談支援の充実		
行政運営プラン			
取組方針	なし		
推進項目			

事業費(千円)			
令和3年度決算額(見込額)			
歳出合計		214	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	214	
前年度決算額・翌年度予算額			
年度		R2	R4
歳出合計		0	41,431
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	0	41,431